

# 2016年度 人権NPO 協働助成金 交付先

※下記の内容は申請書に基づいて事務局が抜粋加工させていただいております。

※内容につきましては、取り組みがすすむ中で変更が生じることがございます。

一般財団法人大阪府人権協会

団体名	NPO 法人おおさかこども多文化センター	特定非営利活動法人子どもセンターぬっく	シングルマザーのためのサポートグループ まえむき IPP0	NPO 法人えんばわめんと堺/ES
重点	ユニークな啓発・広報活動	持続可能な活動の仕組みづくり	持続可能な活動の仕組みづくり	持続可能な活動の仕組みづくり
企画名	大阪市人権絵本「てんとてん」の多言語マルチメディアDAISY版とYouTubeの作成	子どもシェルターにおける自立援助事業	シングルマザー&プレシングルマザーに対するトータルサポート構築のためのネットワークと仕組みづくりプロジェクト	思春期のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス&ライツ(SRHR)の意識調査と検証
課題	世界的なグローバル化現象で、人々の移動が世界中で起こっている。それに伴う複数言語環境で育つ子どもが増えているが、言語力の基盤となる母語の喪失現象もみられる。母語・継承語を大切にすることは、教育の根幹となす言語力の育成と人々のアイデンティティの確立や親子家族間の密なるコミュニケーションの確保が必要である。	大阪府では児童虐待件数が全国最多となる一方、被虐待児を保護するための一時保護所は慢性的な定員超過の状態。今日寝泊まりする場所さえない子ども達が数多くいる。シェルターでの生活は概ね2ヶ月であり、抱えている問題が入居で完結できるわけでない。シェルターを退所した後の困難に直面することは容易に予想できる。入居中から退所後の自立支援を行うことが必要不可欠である。	シングルマザーと離婚前のプレシングルマザーは多くの課題を抱えており、相談したい内容もDV、就労支援、子育て、別居親との面会交流、教育費など、多岐に渡っている。それらをトータルに解決できる相談窓口がない。相談先自体が繋がっておらず、当事者達は忙しく経済的苦しい中で、あちこちかけずりまわり疲弊している。	思春期の中学・高校生の課題は、ジェンダーのすり込みによるデートDV・セクシュアルマイノリティへの偏見、誤った情報を信じ込み気付いたときには、自分ではどうしようもない状況になっていたという現状がある。結果、自分を傷つけ、抱え込んだり、周囲が気付いた時に深刻な状況に。今を起っている問題を一諸に考える場が必要である。
目標	ITを使いWEB上で多言語に翻訳した絵本をアップすることで、世界中、どこでもアクセスすれば、誰でも読むことができる。親子、家族、学校で、自分の母語で絵本を読むことができるようにする	子どもシェルターを退所するにあたり、子どもが頼ることのできる人とのつながりを持ち、途切れのない支援を実現する。	バラバラな相談窓口等を一本化し、相談を受ける側のスキルアップとネットワークを構築する。実効性のあるトータルサポートできる仕組みを構築する。	子どもたち一人ひとりが自分を大切に思い意思決定し、選択していくこと。そして、つながる力を身につけ、自立へとつながっていける状態にしたい。SRHRが浸透することで、正しい知識がふえ、選択肢が拡がり、様々な偏見克服につながる。次世代の意識が変化することによって、誰も生きやすい社会が創造される。

<p>内容</p>	<p>「てんとてん」を多言語化（日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国朝鮮語、フィリピン語等）に翻訳したマルチメディア DAISY 版および Youtube を作成し、HP 上で公開する。また CDR を作成し、希望者に配布する。</p>	<p>①入居中及び退所後、月1回の自宅や職場の訪問し、料理や就労体験など生活支援や就労支援行う。 ②子どもがやってみたい「思い」を叶えたりくみ子ども一人ひとりに対し、様々な知識経験をもつ支援者を見つけ、アウトリーチによってよりよい、そのニーズを拾いあげる。</p>	<p>1) 内部ミーティング 共同して活動可能な団体等のピックアップして呼びかける段取り。 2) ネットワークのための支援者会議 3) ネットワーク団体の学びのための学習会 4) 当事者向け無料相談会</p>	<p>学校教育の授業時間の中で” 思春期の SRHR” を実施 参加型体験型学習（4校） ・生徒・教職員への事前アンケートを実施し課題発見・問題点を抽出、分析。 ・事前アンケートを分析しプログラム化 ・冊子作成</p>
<p>協働</p>	<p>府人権協会のネットワークの活用と広報</p>	<p>「ぬつくメイト」の呼びかけ等人材確保のための協働。子どもの自立支援に関する相談等、人的資源の活用</p>	<p>相談を受ける窓口、受けた相談の具体的な解決策を協働。そのための会議の場、広報活動</p>	<p>人権協会のホームページ等で情報発信 人権協会ネットワークとの連携 人権教育である性・生のワークショップに関心がある学校を紹介</p>